



平成22年11月5日

各 位

会社名 アールピバン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳  
(JASDAQ・コード7523)  
問合せ先 経営企画室マネージャー 樋口 弘司  
電話番号 03-5783-7171

## 特別利益・特別損失の発生及び第2四半期累計期間の業績予想値と決算値との 差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別利益及び特別損失を計上することになりましたので、その概要をお知らせいたします。

また、平成22年5月14日に公表いたしました平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）第2四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせするとともに、通期連結業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の発生及び内容

##### 抱合せ株式消滅差益の発生

当期の個別決算において連結子会社であった株式会社e・ジュネックスを平成22年9月8日付けで吸収合併したことにより、抱合せ株式消滅差益1,330百万円を特別利益に計上する結果となりました。

なお、当該抱合せ株式消滅差益は、内部取引として消去されるため、連結業績数値には影響いたしません。

#### 2. 特別損失の発生及び内容

##### 減損損失の計上

当期の連結決算において連結子会社カルナフィットネスアンドスパ株式会社が運営するフィットネスクラブの営業損益が連続赤字となったため、その設備等について減損損失762百万円を特別損失に計上する結果となりました。

##### 貸倒引当金繰入額の計上

当期の個別決算において連結子会社タラサ志摩スパアンドリゾート株式会社及びカルナフィットネスアンドスパ株式会社の財政状態が悪化したことにより、関係会社貸付金等に対して貸倒引当金繰入額588百万円を特別損失に計上する結果となりました。

なお、当該貸倒引当金繰入額は、内部取引として消去されるため、連結業績数値には影響いたしません。

2. 平成23年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異（平成22年4月1日～平成22年9月30日）

(1) 連結累計期間の予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	4,000	290	320	140	10.68
今回実績 (B)	3,218	448	437	△429	△32.75
増減額 (B-A)	△782	158	117	△569	—
増減率	△19.6%	54.5%	36.6%	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	3,345	527	486	268	19.51

(2) 個別累計期間の予想値と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	900	△150	△60	△80	△6.10
今回実績 (B)	1,070	△23	77	753	57.42
増減額 (B-A)	170	127	137	833	—
増減率	18.9%	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	1,045	25	46	△23	△1.69

3. 平成23年3月期 通期業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	7,950	630	660	320	24.42
今回修正 (B)	7,000	760	770	△230	△17.58
増減額 (B-A)	△950	130	110	△550	—
増減率	△11.9%	20.6%	16.7%	—	—
(参考) 前期実績 (平成22年3月期)	6,509	491	439	△391	△28.54

## (2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	1,760	△270	△110	△140	△10.68
今回修正 (B)	2,730	60	240	800	61.17
増減額 (B-A)	970	330	350	940	—
増減率	55.1%	—	—	—	—
(参考)前期実績 (平成22年3月期)	2,092	96	1,167	321	23.44

## 4. 差異及び修正の理由

## (1) 平成23年3月期 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異理由

## (連結)

売上高につきましては、美術品販売事業においてオークション等による販売の遅れもあり、当初予想を782百万円下回りましたが、グループ全体として原価率の改善及び経費削減等の諸施策を実施してまいりました結果、営業利益、経常利益は前回発表の予想を上回る結果となりました。

当期純利益につきましては、健康産業事業においてフィットネスクラブ設備等について減損損失762百万円を特別損失に計上したことにより前回発表の予想を下回る結果となりました。

## (個別)

連結子会社であった株式会社e・ジュネックスを平成22年9月8日付けで吸収合併したことにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回発表の予想を上回る結果となりました。

## (2) 平成23年3月期 通期業績予想数値の修正理由

## (連結)

売上高につきましては、オークション等における販売の遅れによる美術品販売事業の売上減少及びフィットネスクラブの新規会員獲得が難しい状況で推移している健康産業事業の売上減少等により当初予想を下回る見込みですが、経費削減効果等により営業利益、経常利益は前回発表の予想を上回る見込みであります。

当期純利益につきましては、健康産業事業においてフィットネスクラブ設備等について減損損失762百万円を特別損失に計上したことにより前回発表の予想を下回る見込みであります。

## (個別)

連結子会社であった株式会社e・ジュネックスを平成22年9月8日付けで吸収合併したことにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を上回る見込みであります。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上